



第3章 道路ストック管理の課題

第2章「マネジメント対象の現状」と、白書の「現状・管理の取組のとりまとめ」、「今後の方向性」を踏まえ、道路ストック管理の課題を、次の3点に整理しました。

課題 1 中長期的な管理費の縮減・平準化と財政負担の軽減

- ・道路ストックの老朽化による安全性の低下や財政負担の軽減に向けた対策として、施設特性に応じた管理方針を明確化したうえで、中長期的な管理費の縮減・平準化を図るとともに、国庫補助等の特定財源の確保にも積極的に取組んでいく必要があります。
- ・道路ストックは、市民生活を支える基本となる施設であり、今後もサービスレベルの維持を図りながら、時代の要請に応じたバリアフリー化といった高質化の取組や道路ストックの配置の見直し、台風等の激甚化する災害への対応も必要となります。

課題 2 限られた人員・予算の中でのサービスレベルの維持

- ・道路ストックの管理業務は拡大・増加しており、財政・人的な面から厳しい状況が増えています。人員・予算は限られる中で、管理の効率化を高めながら、メンテナンスサイクルを構築し、より計画的かつ安定的な管理への転換が必要となっています。
- ・道路ストックは市民の関心も高く、安全性の確保や日常管理業務を適切かつ迅速に図る中で、サービスレベルを維持していくことが求められています。
- ・ICTなど新技術の導入によるコスト縮減・生産性向上、庁内及び道路占用企業者等との連携強化、契約手法の改善等の検討を積極的に進めていく必要があります。

課題 3 マネジメント体制の構築と職員のスキルアップ

- ・道路ストックに関する情報の取捨選択と整理のうえ、早期に電子化を図り、情報やナレッジ(知識)について、蓄積した情報を管理に活用する仕組みや、関係職員間での引継ぎや共有・継承を支援する仕組みの改善を図っていく必要があります。
- ・安全性の確保に向けた適切な管理や新技術の活用等、管理業務は複雑化し、特に、関係職員のスキルアップやマネジメント意識向上の必要性が増えています。
- ・行政のみでなく、市民、企業等との連携による管理等の検討に取り組んでいく必要があります。